

報恩寺だより

No. 46
 平成28年3月15日発行
 おたすけ観音 報恩寺
 綾瀬市寺尾南2-10-1
 電話 0467-78-7160
 F A X 0467-79-1567

だいほんにゃきとう え ごんしゅう 大般若祈祷会勤修について

5月10日は、おたすけ観音の縁日です。皆様の家内安全、身体健全、諸災消除、諸縁吉祥を祈り、大般若祈祷会を次により行いますので、お誘い合わせのうえ御参詣くださるよう、ご案内申し上げます。

記

- 期 日 平成**28**年**5**月**10**日(火)
- 日 程 午後1時 御詠歌
 午後2時 大般若祈祷会
 午後3時 落語 隅田川 馬石 師匠
 午後4時 小斎

祈祷料(2,000円)は、この報恩寺だよりを郵送した封筒にいれ、
当日御志納お願い致します。

特別御寄進

次の方々から特別御寄進を頂きました。各位の御芳志に感謝すると共に供養菩提のご冥福をお祈りいたします。

- | | |
|------------------|------------------|
| 平成27年3月 小山田 政仁 様 | 平成27年6月 橋川 幸彦 様 |
| 平成27年4月 橋川 節 様 | 平成27年6月 小山田スミエ 様 |
| 平成27年4月 近藤 薫 様 | 平成27年9月 戸井田 政男 様 |
| 平成27年4月 森町 誠二 様 | 平成27年10月 笠間 ハツ 様 |
| 平成27年5月 柴崎 ちよ子 様 | 平成28年1月 佐藤 勝雄 様 |
| 平成27年5月 重森 一雄 様 | |

座禅会ははじめます

毎月第1日曜日 朝6時より
 所要時間約1時間

第7回目
4月3日(日)
 6時より

どなたでも参加できます。
 動きやすい服装でおいで下さい。

◆ 報恩寺年間行事予定 ◆			
4月 8日	積尊降誕会 花祭り	12月 31日	除夜の鐘
5月 10日	大般若祈祷会	平成 29年 1月 1日	お年始詣り
8月 7日	大施餓鬼会	2月 15日	涅槃会
9月 15日	秋彼岸会法要	3月	春彼岸会法要
12月 8日	成道会		

住職退任のご挨拶

平成28年1月17日の役員会をもちまして、住職を退任し副住職 良隆に譲位することにいたしました。昭和27年より住職を拝命し62年間の長きにわたり大過なく任を務める事が出来ましたのも、皆さまの先代、又は先々代の方と、二代、三代にわたってのご法愛の賜物と存じ感謝申し上げます。



報恩寺 二十八世 加藤良興 合掌

このたび、報恩寺住職に就任いたしました加藤良隆です。
 師匠は生きていた限り現役住職というのが、あるべき姿だと言っておりましたので、あとしばらくは副住職として、師匠を補佐し支えていくつもりでおりましたが、住職でなければ受けることの出来ない役職などがあり、宗務所行政に支障をきたし始めましたので、師匠はまだ体が動くうちに任を譲ることを決断いたしました。
 浅学菲才の身ではありますが、新住職として報恩寺の檀信徒の皆さまのご先祖お守りし、幸せをお祈りし、心のよりどころとなり、安らぎを感じられるお寺を目指して誠心誠意、報恩寺の興隆に尽くしていく所存であります。



報恩寺二十九世 加藤良隆 合掌



梅花流全国奉詠大会

平成二十七年五月二十七日・二十八日 曹洞宗梅花流全国奉詠大会が、パシフィコ横浜国立大ホールで開催されました。全国より二日間合計九〇〇名以上の講員さんが参加しました。

大会開会式では、全国の講員を代表して、報恩寺梅花講から笠間綾子さんが「お誓い」の大作を務めました。



前から二人目が笠間綾子さん

また、その時の感想が笠間綾子さん自身の執筆で神奈川県第二宗務所「所のたより」に掲載されました。

お誓いの言葉をさせて戴いて

正詠教範 報恩寺梅花講 笠間 綾子

この度岡大本山御下のご臨席のもと、パシフィコ横浜国立大ホールにて梅花流全国奉詠大会が二日間に亘り行われました。その名譽ある大会に全国梅花講員五千余人のなか、私連三名が神奈川県第二宗務所から代表としてお誓いのお言葉をとおなえさせて戴く事になりました。この機会に選ばれて参加させて頂き感謝の念で一杯でございます。

お誓いをさせて頂くに当り、大会当日の前々日にリハーサルが行われました。その時は、方丈様、関係の方々にご指導を仰ぎ、特にご家族様方には、お作法等事細かくお稽古をしっかりと御指導を賜りました。重々お礼申し上げます。

有難うございました。大会当日には、ご厳しい練習のあいだも満足とは云えませんが無事に岡本御下に見守られ、又皆様方の応援によりお誓いのお言葉が出来ました。お礼申し上げます。

一行つとのおとなえの後、講員一同の聲が館内に響き渡り、無量の胸にとても熱いものを感じました。有難うございました。

これからもお誓いのお言葉の如く、正しい信仰に仲よい生活と明るい世の中をめざして、更に梅花流の御発展に努力をつくして行きたいと思っております。ご折念を申し上げて、お礼のお言葉を代えさせていただきます。

合家

神奈川県第二宗務所主催 管内奉詠大会

平成二十七年十一月四日 鶴見大学附属中 高等学校で行われた管内大会 海老名市の



龍昌院さんと合同登壇をしました。奉詠曲は神奈川県第二宗務所の講長会にてくじ引きで決めるのですが、くしくも大本山総持寺二祖峨山韶碩禪師六五〇回大遠忌の年に、大本山總持寺二祖峨山禪師讚仰御詠歌（永光）をお唱えする事が出来ました。

曹洞宗神奈川県第二宗務所梅花講 第43回 梅花流管内奉詠大会 鶴見大学附属 中学校、高等学校 平成27年11月4日

報恩寺永代供養墓について

近年、核家族化や少子高齢化の影響で後継者のいらつしやらない方など、従来型の墓地を持つことが困難な方や、お考えにより合祀を希望される方が増えてきました。

報恩寺永代供養墓は、お観音さまをお祀りし、おたすけ観音信者の方、お寺詣り、お墓参りの方など、多くの方々がお参りし、納められたられた故人を、供養できるようにという願いのもと建立いたしました。



永代供養墓の前面に観音像を安置予定です。



側面の壁に戒名・俗名・行年・没年月日を刻んだ銘石板を掲げます。

概要

報恩寺永代供養墓は、報恩寺が責任を以て永代供養・管理をする墓地です。報恩寺の檀信徒であればどなたでも使用できます。生前に契約することもできます。戒名を銘石板に刻み側面に掲げます。毎年の大施餓鬼会法要にてご供養いたします。使用料は原則として三十五万円です。

お申し込みは報恩寺まで

永代供養墓の由来について

永代供養墓の正面に掲げられている梵字は（卍）聖観音さまの梵字です。

古代のインドで用いられた文字で悉曇文字（じつたんもじ）とも呼ばれています。竹のへらを使い書かれたもので、独特の美しさがあります。

また、梵字は単なる文字ではなく、それ自体に力がある霊的な神聖文字であるとも言われています。

梵字のまわりの二重の円は、聖観音さまの後光をイメージし、真ん中の直線は光背をモチーフとしています。

永代供養墓正面からお参りすると、ちょうど梵字の円がお観音様の光背になるように設計されています。

右側のハネが円から飛び出し反転しているのは、観音力が枠を越え、宗教や国境を越え、闇を照らし、世界平和を願うという思いが込められています。

